間違わない補聴器の選び方 着け方（5）

補聴器の機能

博士補聴器 代表 由井（ゆい） 宏知（こうち）

今回は補聴器の機能についてご紹介いたします。最近の補聴器はパソコンや家電製品の進化と同様に、科学技術の進歩により、以前のものと比べると随分と変化がありました。

補聴器の形状や価格、メーカーの違いにより内容は異なりますが、以前に比べて格段に便利で使いやすくなっています。その中でも代表的な機能をいくつかご紹介いたします。

雑音抑制

難聴になると音を分析する能力が低下し、正常な耳であれば聞き分けられるちょっとした音の高さ、長さ、大きさの違いが聞き分けにくくなります。さらにそこに雑音があると、通常なら聞き分けられる言葉が雑音と混ざり合って区別出来なくなってしまいます。以前の補聴器のイメージから「補聴器は雑音も大きくしてうるさい！」とお考えの方が多くいらっしゃいますが、最近は補聴器に内蔵されている音声処理を行うコンピュータの高性能化とアルゴリズムの改良により、会話に関係のない音を抑制する効果が大きいものが出てきています。また、不快なピーピー音（ハウリング抑制）、マイクの風切り音、突発音の抑制などについても改善されています。

指向性

マイク技術の進化により、例えばレストランで周囲の雑音よりも前方の会話者の声を聴きたいときに、マイクの指向性を前方に絞り、会話とは関係のない方向の音を取り除くことができます。

音を細かく分割して聞きやすく

補聴器はお一人おひとりの異なる聴力に対して個別に調整をします。音の周波数帯域を低い周波数から高い周波数まで分割し、周波数ごとに音の大きさなどを調整しますが、以前と比べて細かく分割されているため、より細やかな調整ができます。

日常の便利機能

多くの補聴器は、電話やテレビの音をより聞きやすくする設定や、場所や周りの音環境に対応した設定に自動または手動で切り替える機能が搭載されています。また、電池切れや補聴器の異常を音声で通知する機能もあります。

ワイヤレス機能

アンテナが内蔵されており、様々なワイヤレス機能を搭載した補聴器があります。例えば、左右の補聴器で通信し、音量調整や雑音処理などを連動して行うことで、より自然に聴かせる機能、ワイヤレスマイクなどを使って離れた人の声を電波で飛ばし補聴器で聴く機能、リモコンを使って音量設定やプログラムを切り替える機能、また、最近では携帯電話やスマートフォンの音楽や通話音声を補聴器で直接聴く機能、GPS位置情報を使って補聴器を失くした場所を特定する機能など、様々な機能があります。

ご紹介したのはごく一部ですが、補聴器は日々進化し、ますます使いやすく聴きやすくなっています。

博士補聴器
Dr. Hearing Group
白井市役所近く
木下街道沿い
補聴器のことなら何でもご相談ください
営業時間：9:00～18:00　定休日：木曜日（土日祝営業）
白井市根 115-24 P あり ☎/FAX 047-492-6333